



平成30年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年5月11日

上場会社名 三光産業株式会社
コード番号 7922 URL <http://www.sankosangyo.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 幹雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務・経理担当 (氏名) 高橋 光弘

TEL 03-3403-8134

定時株主総会開催予定日 平成30年6月28日

配当支払開始予定日

平成30年6月29日

有価証券報告書提出予定日 平成30年6月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期の連結業績(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期	12,660	27.5	187	—	245	—	252	23.7
29年3月期	9,930	1.0	△129	—	△74	—	204	—

(注) 包括利益 30年3月期 361百万円 (63.3%) 29年3月期 221百万円 (—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
30年3月期	40.81	—	3.0	2.1	1.5
29年3月期	33.00	—	2.5	△0.7	△1.3

(参考) 持分法投資損益 30年3月期 一百万円 29年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期	12,176	8,724	71.6	1,408.71
29年3月期	11,443	8,536	73.4	1,356.55

(参考) 自己資本 30年3月期 8,724百万円 29年3月期 8,401百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
30年3月期	102	65	△180	3,057
29年3月期	△254	796	△47	3,061

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
29年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00	43	21.2	0.5
30年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00	43	17.2	0.5
31年3月期(予想)	—	0.00	—	7.00	7.00	—	—	—

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,400	△10.0	100	△46.6	130	△47.1	90	△64.4	14.53

当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の連結業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期	7,378,800 株	29年3月期	7,378,800 株
② 期末自己株式数	30年3月期	1,185,857 株	29年3月期	1,185,791 株
③ 期中平均株式数	30年3月期	6,192,990 株	29年3月期	6,193,009 株

(参考)個別業績の概要

1. 平成30年3月期の個別業績(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期	8,239	4.8	29	—	106	204.4	99	△42.9
29年3月期	7,859	2.7	△30	—	34	△43.8	175	680.1

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期	16.14	—
29年3月期	28.26	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
30年3月期	10,826		8,292		76.6	1,339.02		
29年3月期	10,759		8,147		75.7	1,315.53		

(参考) 自己資本 30年3月期 8,292百万円 29年3月期 8,147百万円

2. 平成31年3月期の個別業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,600	16.5	38	30.9	70	△34.2	40	△60.0	6.45

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績などの概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用の逼迫並びに近隣諸国における政治動向など先行きに不安定な要素はあるものの、企業業績の改善や個人消費の持ち直しなど緩やかな景気回復基調で推移いたしました。

印刷業界においては、印刷需要が減少するなか受注競争による単価の下落等により、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと当社グループは、効率化の推進による収益改善と成長に向けた新たなチャレンジを基本方針に掲げ、業績回復に向けて取り組んでまいりました。この結果、当連結会計年度の売上高は、タッチパネル関連製品等の受注増により、12,660百万円（前年同期比127.5%）と大幅な増収となりました。

利益面につきましては、売上高増加に伴う販売費及び一般管理費の増加はあったものの、増収効果及び歩留率の改善等の原価低減に努めました結果、営業利益は187百万円（前年同期は129百万円の営業損失）となり、受取利息配当金等の計上により経常利益は245百万円（前年同期は74百万円の経常損失）となりました。また、特別利益に計上した固定資産売却益は前年同期比351百万円減少いたしました。親会社株主に帰属する当期純利益は252百万円（前年同期比123.7%）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 日本

タッチパネル関連製品の幅広い営業展開と一般シール・ラベル製品等の受注確保のため、既存取引先の深耕のほか食品関連等の新規分野への営業展開を積極的に行い、製造面については、歩留率の改善及び内製化による効率化を重点的に進めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は7,799百万円（前年同期比109.1%）となり、セグメント利益は29百万円（前年同期は35百万円のセグメント損失）となりました。

② 中国

日本国内に新設したグローバル営業部との連携強化により、タッチパネル関連製品を中心に得意先からの受注は大幅に増加し、また、製造面については生産効率の改善、徹底した経費の削減を行ってまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は4,183百万円（前年同期比182.9%）となり、セグメント利益は156百万円（前年同期は41百万円のセグメント損失）となりました。なお、中国に所属する連結子会社は、光華産業有限公司及び燦光電子（深圳）有限公司であります。

③ アセアン

サンコウサンギョウ（マレーシア）SDN. BHD. につきましては、日本からの営業面・製造面における支援体制により、受注の増加及び製造工程の改善等を図り、業績は回復基調で推移いたしました。また、サンコウサンギョウ（バンコク）CO., LTD. は、日本国内外からの営業面・製造面の支援を受け事業展開の遅れを回復すべく努めております。

この結果、当連結会計年度の売上高は677百万円（前年同期比136.9%）となり、セグメント損失は7百万円（前年同期は64百万円のセグメント損失）となりました。なお、アセアンに所属する連結子会社は、サンコウサンギョウ（マレーシア）SDN. BHD. 及びサンコウサンギョウ（バンコク）CO., LTD. であります。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産の残高は12,176百万円となり、前連結会計年度末比733百万円増加いたしました。これは、主に第3四半期連結会計期間以降の売上高の増加により、受取手形及び売掛金が810百万円増加したことによるものであります。

(負債)

負債総額は3,452百万円となり、前連結会計年度末比545百万円増加いたしました。これは、主に支払手形及び買掛金603百万円の増加によるものであります。

(純資産)

純資産総額は8,724百万円となり、前連結会計年度末比187百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が209百万円、その他の包括利益累計額が108百万円増加いたしました。非支配株主からの株式譲渡により非支配株主持分が135百万円減少したこと等によるものであります。この結果、自己資本比率は71.6%（前連結会計年度末は73.4%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、関係会社株式取得等の資金の減少要因によって、3,057百万円（前年同期比4百万円減）となりました。

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、売上債権の増加額813百万円等の資金の減少要因はありましたが、税金等調整前当期純利益277百万円、仕入債務の増加額609百万円、減価償却費161百万円等の資金の増加要因により、102百万円（前年同期は254百万円の資金の使用）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により獲得した資金は、有形固定資産の取得による支出149百万円等の資金の減少要因があり、また有形固定資産の売却による収入が前年同期比806百万円減少しておりますが、投資有価証券の売却による収入54百万円、保険積立金の解約による収入102百万円等の資金の増加要因により、65百万円（前年同期比731百万円減）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出129百万円、配当金の支払額41百万円等により、180百万円（前年同期比133百万円増）となりました。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、日本国内は引き続き緩やかな回復基調で推移するものと思われませんが、海外は近隣諸国における政治動向などの不安定な要素が存在し、先行き不透明な状況が続くものと思われれます。

この様な状況下で当社グループは、来期を初年度とする3ヶ年の中期経営計画を達成するため全社をあげて取り組んでまいります。

次期（平成31年3月期）の連結業績の見通しにつきましては、売上高11,400百万円、営業利益100百万円、経常利益130百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は90百万円と予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準により連結財務諸表を作成する方針であります。なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を踏まえ、検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当連結会計年度 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,077,077	3,073,979
受取手形及び売掛金	3,619,625	4,429,667
商品及び製品	420,338	331,912
仕掛品	120,181	134,671
原材料及び貯蔵品	213,329	186,994
未収還付法人税等	150	7,430
繰延税金資産	55,068	45,293
その他	35,429	76,592
貸倒引当金	△2,139	△2,600
流動資産合計	7,539,061	8,283,941
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,728,192	2,784,559
減価償却累計額	△1,815,251	△1,871,833
建物及び構築物(純額)	912,941	912,725
機械装置及び運搬具	2,721,375	2,824,561
減価償却累計額	△2,240,622	△2,331,245
機械装置及び運搬具(純額)	480,753	493,316
工具、器具及び備品	200,780	223,439
減価償却累計額	△176,267	△183,513
工具、器具及び備品(純額)	24,513	39,925
土地	1,281,324	1,284,779
リース資産	53,332	53,332
減価償却累計額	△9,041	△17,182
リース資産(純額)	44,290	36,149
建設仮勘定	-	218
有形固定資産合計	2,743,823	2,767,115
無形固定資産		
ソフトウェア	2,500	4,994
無形固定資産合計	2,500	4,994
投資その他の資産		
投資有価証券	742,166	853,572
長期貸付金	92,647	33,458
繰延税金資産	319	296
その他	389,077	283,233
貸倒引当金	△66,027	△50,040
投資その他の資産合計	1,158,183	1,120,521
固定資産合計	3,904,507	3,892,630
資産合計	11,443,569	12,176,571

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当連結会計年度 (平成30年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,076,205	2,679,721
未払法人税等	60,397	1,368
賞与引当金	115,631	109,385
その他	253,831	277,182
流動負債合計	2,506,065	3,067,657
固定負債		
長期未払金	33,403	853
退職給付に係る負債	267,032	245,912
その他	100,840	138,034
固定負債合計	401,276	384,800
負債合計	2,907,341	3,452,458
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,850,750	1,850,750
資本剰余金	2,272,820	2,277,951
利益剰余金	5,010,548	5,219,960
自己株式	△1,013,834	△1,013,866
株主資本合計	8,120,284	8,334,795
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	289,232	378,030
為替換算調整勘定	△8,343	11,287
その他の包括利益累計額合計	280,888	389,317
非支配株主持分	135,054	-
純資産合計	8,536,227	8,724,113
負債純資産合計	11,443,569	12,176,571

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
売上高	9,930,352	12,660,738
売上原価	8,192,447	10,569,543
売上総利益	1,737,905	2,091,194
販売費及び一般管理費		
役員報酬・給与手当	838,385	852,289
賞与引当金繰入額	76,026	59,080
退職給付費用	45,622	44,906
福利厚生費	173,000	171,550
その他	734,742	776,144
販売費及び一般管理費合計	1,867,778	1,903,969
営業利益又は営業損失(△)	△129,872	187,225
営業外収益		
受取利息	4,502	3,248
受取配当金	12,562	16,076
貸倒引当金戻入額	3,066	16,718
受取賃貸料	4,438	5,847
為替差益	3,088	39
受取保険金	16,000	6,000
その他	13,415	13,436
営業外収益合計	57,074	61,365
営業外費用		
賃貸建物減価償却費	301	543
その他	1,292	2,405
営業外費用合計	1,594	2,949
経常利益又は経常損失(△)	△74,392	245,641
特別利益		
固定資産売却益	355,039	3,395
投資有価証券売却益	-	29,757
特別利益合計	355,039	33,153
特別損失		
固定資産処分損	186	885
減損損失	103,567	-
特別損失合計	103,753	885
税金等調整前当期純利益	176,893	277,909
法人税、住民税及び事業税	43,598	9,392
法人税等調整額	△70,528	16,605
法人税等合計	△26,930	25,998
当期純利益	203,823	251,911
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△560	△851
親会社株主に帰属する当期純利益	204,383	252,763

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
当期純利益	203,823	251,911
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	103,933	88,798
為替換算調整勘定	△86,685	20,361
その他の包括利益合計	17,247	109,159
包括利益	221,071	361,071
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	231,714	361,192
非支配株主に係る包括利益	△10,643	△121

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,850,750	2,272,820	4,849,516	△1,013,834	7,959,251
当期変動額					
剰余金の配当			△43,351		△43,351
親会社株主に帰属する 当期純利益			204,383		204,383
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	161,032	-	161,032
当期末残高	1,850,750	2,272,820	5,010,548	△1,013,834	8,120,284

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	185,298	68,258	253,557	145,697	8,358,507
当期変動額					
剰余金の配当					△43,351
親会社株主に帰属する 当期純利益					204,383
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	103,933	△76,602	27,330	△10,643	16,687
当期変動額合計	103,933	△76,602	27,330	△10,643	177,720
当期末残高	289,232	△8,343	280,888	135,054	8,536,227

当連結会計年度(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,850,750	2,272,820	5,010,548	△1,013,834	8,120,284
当期変動額					
剰余金の配当			△43,351		△43,351
親会社株主に帰属する 当期純利益			252,763		252,763
自己株式の取得				△32	△32
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)		5,131			5,131
当期変動額合計	-	5,131	209,412	△32	214,511
当期末残高	1,850,750	2,277,951	5,219,960	△1,013,866	8,334,795

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	289,232	△8,343	280,888	135,054	8,536,227
当期変動額					
剰余金の配当					△43,351
親会社株主に帰属する 当期純利益					252,763
自己株式の取得					△32
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	88,798	19,631	108,429	△135,054	△21,493
当期変動額合計	88,798	19,631	108,429	△135,054	187,885
当期末残高	378,030	11,287	389,317	-	8,724,113

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	176,893	277,909
減価償却費	147,731	161,435
役員退職慰労未払金の増減額 (△は減少)	△1,700	△32,550
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△18,569	△21,120
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8,693	△7,329
減損損失	103,567	-
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,547	△15,526
受取利息及び受取配当金	△17,065	△19,324
有形固定資産売却損益 (△は益)	△355,039	△3,395
有形固定資産処分損益 (△は益)	186	885
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	-	△29,757
売上債権の増減額 (△は増加)	△685,449	△813,290
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△108,612	108,327
破産債権の増減額 (△は増加)	6,440	△811
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	95,281	△29,164
仕入債務の増減額 (△は減少)	409,940	609,246
未払金の増減額 (△は減少)	△1,979	19,996
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△6,390	△27,901
その他	△34,634	△43,066
小計	△286,253	134,564
利息及び配当金の受取額	18,890	19,324
保険金の受取額	16,000	6,000
法人税等の支払額	△8,709	△57,217
法人税等の還付額	5,151	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	△254,920	102,672
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△150,859	△149,080
有形固定資産の売却による収入	809,103	2,994
無形固定資産の取得による支出	△5,397	△3,934
有価証券の償還による収入	200,000	-
投資有価証券の取得による支出	△7,874	△8,289
投資有価証券の売却による収入	-	54,573
貸付けによる支出	△2,350	△6,000
貸付金の回収による収入	22,360	65,188
事業保険金の支出	△2,706	-
事業保険金の解約による収入	-	14,987
関係会社株式の取得による支出	△9,393	-
保険積立金の積立による支出	△50,000	-
保険積立金の解約による収入	-	102,985
その他	△6,383	△8,104
投資活動によるキャッシュ・フロー	796,499	65,321
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	-	△32
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△129,800
親会社による配当金の支払額	△43,094	△41,962
その他	△4,064	△8,792
財務活動によるキャッシュ・フロー	△47,159	△180,588
現金及び現金同等物に係る換算差額	△48,936	8,385
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	445,482	△4,209
現金及び現金同等物の期首残高	2,615,878	3,061,360
現金及び現金同等物の期末残高	3,061,360	3,057,150

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、接着剤付きラベル・ステッカー・パネル等の特殊印刷製品の企画並びに製造、販売を行っている専門メーカーであり、日本においては当社が、海外においては中国とアセアンの現地法人が、それぞれの拠点を担当しております。

現地法人は、それぞれ独立した経営単位であり、各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しており、当社グループは、これらの拠点別を基礎とした地域別セグメントから構成されております。

したがって、これらの拠点における販売市場をそれぞれ別個のセグメントとして捉え、「日本」、「中国」、「アセアン」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、重要な資産の評価基準、評価方法、減価償却方法及び引当金の計上基準等の会計方針に関する事項を記載しております「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

I 前連結会計年度(自平成28年4月1日至平成29年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	連結財務諸表計上額
	日本	中国	アセアン	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,147,615	2,287,870	494,867	9,930,352	-	9,930,352
セグメント間の内部売上高又は振替高	711,524	80,078	3,188	794,791	△794,791	-
計	7,859,140	2,367,949	498,055	10,725,144	△794,791	9,930,352
セグメント利益又は損失(△)	△35,201	△41,289	△64,407	△140,897	11,025	△129,872
セグメント資産	6,720,877	1,157,217	776,476	8,654,571	2,788,998	11,443,569
その他の項目						
減価償却費	108,185	2,683	37,014	147,883	△152	147,731
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	94,128	37,592	45,225	176,947	152	177,099

(注) 調整額は以下のとおりであります。

- セグメント利益の調整額11,025千円には、セグメント間取引に係るたな卸資産等の調整額が含まれております。
- セグメント資産の調整額2,788,998千円には、当社の金融資産3,260,077千円及び報告セグメント間の債権の相殺消去△471,079千円が含まれております。
- セグメント利益又はセグメント損失は、連結損益計算書の営業利益又は営業損失と調整を行っております。

II 当連結会計年度(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	連結財務諸表計上額
	日本	中国	アセアン	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,799,785	4,183,685	677,267	12,660,738	-	12,660,738
セグメント間の内部売上高又は振替高	439,234	294,499	6,000	739,734	△739,734	-
計	8,239,019	4,478,185	683,268	13,400,473	△739,734	12,660,738
セグメント利益又は損失(△)	29,038	156,650	△7,880	177,808	9,416	187,225
セグメント資産	6,824,662	1,700,740	788,934	9,314,337	2,862,234	12,176,571
その他の項目						
減価償却費	124,766	5,025	31,796	161,588	△152	161,435
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	131,153	17,714	8,806	157,674	152	157,827

(注) 調整額は以下のとおりであります。

1. セグメント利益の調整額9,416千円には、セグメント間取引に係るたな卸資産等の調整額が含まれております。
2. セグメント資産の調整額2,862,234千円には、当社の金融資産3,094,095千円及び報告セグメント間の債権の相殺消去△231,861千円が含まれております。
3. セグメント利益又はセグメント損失は、連結損益計算書の営業利益又は営業損失と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

当社グループは、接着剤付きラベル・ステッカー・パネル等の特殊印刷製品の企画並びに製造、販売という単一産業区分に属する事業を行っている専門メーカーであり、その製品区分は単一であります。また、その外部顧客への売上高は連結損益計算書の売上高の100%であるため、セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針第15項に基づき、当該情報の開示は省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	中国	アセアン	合計
6,753,028	2,100,014	1,077,309	9,930,352

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位:千円)

日本	中国	アセアン	合計
2,311,654	88,310	343,858	2,743,823

3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

当社グループは、接着剤付きラベル・ステッカー・パネル等の特殊印刷製品の企画並びに製造、販売という単一産業区分に属する事業を行っている専門メーカーであり、その製品区分は単一であります。また、その外部顧客への売上高は連結損益計算書の売上高の100%であるため、セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針第15項に基づき、当該情報の開示は省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	中国	アセアン	合計
6,784,561	4,238,696	1,637,479	12,660,738

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	中国	アセアン	合計
2,320,380	103,692	343,042	2,767,115

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
富泰京精密電子(烟台)有限公司	1,300,937	中国

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位：千円)

日本	中国	アセアン	合計
—	—	103,567	103,567

当連結会計年度(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
1株当たり純資産額	1,356.55円	1,408.71円
1株当たり当期純利益金額	33.00円	40.81円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (千円)	204,383	252,763
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純利益金額(千円)	204,383	252,763
期中平均株式数(千株)	6,193	6,192

(重要な後発事象)

該当事項はありません。